



「志五中だより」

～響き合う学びのエリア 志五中・舟渡小ブロック～

【教育目標】・自ら考え行動し 進んで学ぶ人

・思いやりの心をもち 社会に貢献できる人

・豊かな情操と体力をはぐくみ 心身ともに健康な人

令和7年度 第11号
令和8年2月13日発行
板橋区立志村第五中学校
校長 溝口 千里

創造性豊かな生徒たちの挑戦

— アップデートする学校のカタチ —

2月に入り、氷点下を記録する日もあるなど、厳しい寒さが続きました。インフルエンザの流行も重なり、体調管理に一層気を配る日々となりました。

そのような中、学校では生徒会役員を中心に、「学校をよりよくしたい」という思いのもと、三つのプロジェクトに挑戦しています。「夏季のジャージ登校」「教え合いスペースの設置」「昼休みの体育館開放」です。

校則は、本来、学校の教育目標を達成するために、社会通念上合理的な範囲で定められてきたものです。しかし、社会や価値観が変化する中で、その合理性もまた見直され、時代に合わせてアップデートされる必要があります。そして、その中心にいるのは子どもたちです。

今回、私が最も価値を感じているのは、単に要望を実現しようとするのではなく、合意に至るまでの「過程」を生徒自らが大切にしている点です。生徒会は全校生徒や教職員にアンケートを実施し、多様な意見を丁寧に拾い上げながら検討を重ねています。

例えば、体育館開放では、教職員に安全面や運用面の懸念を尋ね、「終了の声掛けがあったらすぐにボールを戻す」などの具体的なルールを提案しました。教え合いスペースでは、「遊び場化」への不安に対し、「利用者名簿の管理」や「生徒会による見守り」を示しています。夏季ジャージ登校についても、「指定ジャージに限定する」「行事では標準服を着用する」といった線引きを検討し、今後は保護者の皆

様へのアンケート実施も視野に入れています。

特筆すべきは、その誠実な歩みです。10月の立案以来、多様な声を受け止めながら検討を重ね、今月は「教え合いスペース」と「昼休み体育館開放」の試行を実施しました。まずは3日間の試験運用とし、メリット・デメリットを検証するという、論理的な手順を踏んでいます。

生徒たちは、「声の大きい人」の意見だけでなく、異なる立場や価値観にも耳を傾け、全員が納得できる着地点を探ろうとしています。これは、将来社会で直面する「正解のない問い」に向き合う力そのものです。

試行を通して見えてきた課題をもとに、さらにルールの改善を進めます。計画(Plan)・実行(Do)・検証(Check)・改善(Act)というPDCAを自ら回す経験は、何ものにも代えがたい学びです。まさに社会性を育む「判断の学び」といえるでしょう。

私たち教職員は、生徒の主体性を摘み取ることなく、その可能性を信じ、伴走者としてこの挑戦を支えていきます。根拠ある説明には真摯に耳を傾け、必要に応じて大人の視点から懸念を伝えながら、共に合意形成を図っていきます。その積み重ねが、強い信頼関係を築いていくと考えています。

「生徒が主役になれる学校」

は、生徒・教職員・そして保護者の皆様の理解と協力があってこそ実現します。変化を恐れず、自らの手でルールを考え、責任をもって行動しようとする生徒たちの挑戦を、どうぞ温かく見守り、応援していただければ幸いです。



◆文化発表会(展示発表の部)を開催(2/2~2/7)

文化発表会(展示発表の部)を開催しました。期間中は、多くの保護者や地域の皆様、本校入学予定の児童の皆さんにご来校いただきました。

地域の皆様からは50点もの作品をご出展いただき、生徒たちは一つ一つの作品に足を止め、熱心に鑑賞していました。



また、近隣の日本語学校「浦和国際学院東京校」からは、ネパールや中国などから来ている学生の皆さんによる日本語の自己紹介文や教職員の作品が寄せられ、多様な文化や価値観に触れる貴重な機会となりました。

◆教育目標の一部改訂について

「板橋区教育ビジョン 2025・いたばし学び支援プラン 2025」の終了、ならびに令和8年度からの「MIRAI SCHOOL いたばし — 教育ビジョン 2035・アクションプラン 2028 —」のスタートを受け、本校では、板橋区教育委員会が示す教育の方向性との整合を図るため、教育目標の一部を改訂します。具体的には、教育目標の一つめを、「自ら考え行動し、進んで学ぶ人」から「自ら考え創造し、すすんで挑戦する人」へ改めます。

主体的に考える力に加え、新たな価値を生み出し、挑戦する力を育むことを重視し、今後も教育活動の充実に取り組んでまいります。

【新しい教育目標】

夢に向かって全力を尽くし、社会に貢献しようとする自立した人に成長することを願い、次のような生徒を育成する。

- ・自ら考え創造し すすんで挑戦する人
- ・思いやりの心をもち 社会に貢献できる人
- ・豊かな情操と体力を育み 心身ともに健康な人

◆春季休業日及び1学期始業式の変更について

板橋区では、令和8年度より、春季休業日の終わりを4月7日とし、1学期の始業式を4月8日、入学式を4月9日としましたのでお知らせします。

・令和8年度1学期始業式 4月8日(水) ・第44回入学式 4月9日(木)



◆バドミントン部の地域移行について

板橋区では、生徒の活動機会の確保と教員の負担軽減を目的に、部活動の「地域移行(地域クラブ化)」を進めています。これに伴い、本校バドミントン部は、令和8年8月1日より、教育委員会運営の「いたばし地域クラブ(バドミントンクラブ)」へ移行します。

※令和8年4月～7月は、これまでどおり学校部活動として活動します。

移行後は費用の仕組み等で一部変わる事項もありますが、活動場所は学校施設を使用し、大会にもこれまでどおり参加できる予定です。



【生徒の活躍の様子は学校ホームページ
(学校日記)をご覧ください】

<https://www.ita.ed.jp/1320134/weblog>

※右の二次元コードをスマートフォンで読み取るか、デジタルデータ上で左のURLをクリックしていただくと、学校ホームページをご覧いただけます。

